

地域交流スポーツ祭 スタート!

5月22日（日）に「第74回焼津市民スポーツ祭・第42回地域交流スポーツ祭」の総合開会式が総合体育館で、3年ぶりに行われました。

これは、市内30競技団体による市民スポーツ祭と、26の自治会チームによる地域交流スポーツ祭の開会式を同時開催するもので、式には各団体や自治会の関係者など約200人が参加しました。

開会式終了後には、早くも地域交流スポーツ祭の1種目目である「玉入れ大会」が開催され、体育館内に歓声が響き渡りました。

地域交流スポーツ祭とは

地域でのスポーツ活性化をはかり、健康づくりと地域間の交流を目的として行っています。

種目	大会日
1 玉入れ	5月22日
2 室内パタンク	6月26日
3 ワンパウンド ふらばぐる	9月25日
4 メディシンボール	11月13日

玉入れ優勝チームに聴く

大富第19自治会

チーム監督 村松 秀夫



さて今回私たち大富19自治会メンバーは少人数の中、月1回の練習でチームワークと技術向上に励んだ結果、5年振り7回目の優勝をする事が出来ました。

体育委員の皆様には、練習時のサポートだけではなく、大会当日の田植えによる選手1名不足にも、選手として大会参加で対応していただく等、正に自治会一丸で勝ち取った勝利でした。

練習においては選手のモチベーションアップに配慮した環境作りを心掛け、時には厳しく指導してまいりましたが、大会直後のミーティングで、メンバーから100%の力を発揮する事ができたという喜びの言葉に、優勝の喜びとともにメンバーの結束力を実感しました。

今後は新規メンバーも募り、現メンバーと明るく楽しい活動を通じた絆強化と、健康増進を目的とした練習で、2年連続優勝を目指し強いチーム作りに励みます。

先ずは、コロナ禍が未だ終息していない状況下、3年振りの開催となった玉入れ大会を、万全な感染防止対策を含む大会運営にご尽力いただきました大会関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。